

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等にかかる調査に必要な経費（高額薬剤に係る適正使用実態調査費）			担当部局	保険局		作成責任者					
事業開始年度	平成29年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	医療課		迫井 正深					
会計区分	一般会計											
根拠法令（具体的な条項も記載）	健康保険法（大正14年法律第70号）第76条第2項、第77条			関係する計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針について」（平成28年6月2日閣議決定）							
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障							
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	「経済財政運営と改革の基本方針2016について」（平成28年6月2日閣議決定）において、「費用対効果評価の導入と併せ、革新的医薬品等の使用の最適化推進を図るとともに、生活習慣病治療薬等の処方の方針について本年度より検討を開始し、平成29年度中に結論を得る。」とされていることから、これらについて検討・考察するための基礎資料を収集するため、医療現場における実態・取組み等について把握・調査を行う。											
事業概要（5行程度以内。別添可）	上記骨太の方針に基づき、薬価に係る特例的な対応に加えて、新規作用機序医薬品の最適な使用を進めるためのガイドライン（最適使用推進GL）を策定することとしていることから、最適使用推進GLの医療現場における遵守状況や、使用の最適化を確保するための問題点を把握するため、レセプトを用いた保険者調査、医療現場における使用実態、企業による情報提供状況の調査を行う。											
実施方法	委託・請負											
予算額・執行額（単位：百万円）	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求					
		補正予算	-	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-	-					
		計	0	0	0	0	0	6				
	執行額	0	0	0								
	執行率（%）	-	-	-								
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	-	-	成果実績	%	-	-	-	-	-			
	-	-	目標値	%	-	-	-	-	-			
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-			
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25～27年度の達成状況・実績								
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			当該事業については、主として現在中医協において議論がなされている「最適使用推進GL」に関する医療現場の実態調査を行うものであるが、当該GLの内容及び位置づけが決まっていないことから、現段階においては定量的な目標を設定することは困難。								
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績			代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-			-	-	実績	-	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	-			-	活動実績	件	-	-	-	-		
	-			-	当初見込み	件	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	-			-	単位当たりコスト	-	-	-	-			
	-			-	計算式	-	-	-	-			
平成28・29（単位：）	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由								
	社会保険基礎調査委託費	-	6	「新しい日本のための優先課題推進枠」6 新規事業のため								

年度予算内訳
百万円)

計	0	6

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること										
	施策	施策目標I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
		成果実績	-	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民皆保険の維持とイノベーションの推進の両立を図るために活用する「最適使用推進GL」の実効性の確保を検討するために必要な資料を得ることを目的としており、広く国民のニーズがあり、国費により実施する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国民皆保険の維持とイノベーションの推進の両立を図るために活用する「最適使用推進GL」の実効性の確保に関する資料の収集が目的であるため、国自らが実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民皆保険の維持とイノベーションの推進の両立を図るために活用する「最適使用推進GL」の実効性の確保の検討に必要な資料を得るための手段として位置づけており、優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	

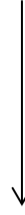
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
		事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシート of 事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

(平成29年度予定)

厚生労働省
6百万円

事業の企画、全体調整等、事業全体の進行管理



選定業者
6百万円

事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

